



平成10年7月15日号
(年4回発行)

6月定例会で28件の議案を可決・議員定数の見直しへ

市議会の虚礼廃止にご理解を！

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会がお中元やお歳暮をすること
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと（自筆の答札は除く）
- 市民や団体が議員に寄附などを求めるこ

このほか市議会では、祝電、弔電の自粛を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。

・脇田海岸(若松区)にて。

景気対策への取り組みを！

一、公共工事の発注

議員 長引く景気の低迷で地場企業を取り巻く環境が厳しい中、景気対策として上半期の公共工事の契約目標率を過去最高の八五・五%とする市の決定を大いに評価しているが、前倒し発注の効果について伺う。

また、下半期の工事高の減少が予測されるが、工事高を確保できるよう補正予算を組むのか。

財政長官 市では、景気対策として全市をあげて取り組む体制をつくり、上半期の契約目標率を決め、地元企業への優先発注を基本原則とすることを徹底した。前倒し発注により受注機会や額が拡大し、また、二億円を限度に

契約額の三割又は四割を前払金として支払うことができるため、即ちたな公共事業費を計上した補正予算の提案を予定していることから、引き続き一定水準の事業費の確保ができると考えている。

P.R.は万全か？

一般ごみ収集の指定袋導入

議員 一般ごみ収集の指定袋制の早期定着を図るために積極的にP.R.を行っているが、説明が一方通行的であるなど、町内会や地域で十分な理解や合意は得られていないのではないか。

市長 昨年五月の行財政改革推進会議の提言に、市



海釣り公園の整備 今後の計画は？

小倉北区の日明・海峡釣り公園は、休みの日には多くの釣りファンで賑わい、利用しやすいと市民に大変好評です。

議員の「他地区における釣り公園等の計画は」との質問に、港湾局長は「市民に親しまれる水際線マスタープランに基づき、8カ所を整備する計画である。現在、そのうちの1つである赤坂延命寺臨海公園で11年度を目標に整備を進めている。

このほかに、脇田地区で釣り桟橋の整備に向けた諸調査を、今年度行うこととしている」と答えました。



議員

自治体と民間が出資し、あつて設立された団体である第三セクターに対しても多数の市職員を派遣したり、市幹部OBが再就職したりしているが、これについてどう認識し、対応して

第三セクターに対する 本市の認識と対応は？

議員 かけているが、指定袋制は市の廃棄物行政の新たなスタートである。市民の協力をいただいて成功させるため、周知に全力を注ぎ、準備に万全を期していきたい。

議員 なお、現在、衛生総連合会と協議のうえ、町内会に具体的な説明を行い協力を求めている。

町内会役員には多大な苦労をおかれているが、指定袋制は市の廃棄物行政の新たなスタートである。市民の協力をいただいて成功させるため、周知に全力を注ぎ、準備に万全を期していきたい。

いののか。

局長

第三セクターは、本市一翼を担うために設立したもので、民間の資金と経営のノウハウを有効に導入でき、効率的な行政運営につながると考えている。

他に、次の項目にわたつても議論がありました

- 宿場町・木屋瀬のまちづくりの今後の展望

- 俳句のメッカ北九州
- 響灘環黄海圏ハブポート計画
- 視覚障害者生活訓練対策

- 高齢社会に対応する学校教育
- 都市計画道路3号線の拡幅
- 生活道路等緊急整備事業

- 本市の住宅施策

また、市職員OBの再就職は、豊富な行政経験、専門的知識の活用などが第三セクターの効率的運用に有益であり、団体の要請を受けてあつせんを行つてている。

今後も必要とされる業務には、市職員を派遣するが、人数・人件費等を厳しく精査していきたい。

議員 今後も必要とされる業務には、市職員を派遣するが、人数・人件費等を厳しく精査していきたい。

底トンネルや関門橋などの建設を支えた土木技術をもう一つのテーマとして展開してはどうか。

また、同地区に残る旧大連航路の上屋はどう活用するのか。

土木技術をもう一つのテーマに！

一、門司港レトロに県立拠点文化施設

議員 先日、門司港の西海岸埋立地に県立拠点文化施設を建設する計画が発表された。海峡をテーマにするということだが、海峡をつなぐ動脈である海

いずれもその時々の最先端の土木技術を駆使した工事である。海峡都市ゆえに存在するこれらの土木技術は、本市独自の土木の歴史や文化として、海峡を語るうえで欠かせない。

しかし、同施設の展示面積では一體的な展開は難しく、分館化を検討しており、その有力な候補地の一つとして旧大連航路の上屋を考えている。同上屋は、国所有で建築年数が経つており、活用が可能な構造調査が必要であるが、今に残る貴重な、しかもレトロ地区に必要な建物であるため、保存を前提とした活用を協議している。

二、門司港レトロに県立拠点文化施設

○上屋

議員 旧大連航路の上屋



議員定数見直しへ！

市議会では、議員定数（64人）について、議会改革懇話会で検討してきましたが、このたび削減の方向でまとまり、これをうけて代表者会議で次のとおり確認されました。

- 平成12年に実施する国勢調査の結果により、区ごとの議員一人あたりの人口比が1.5倍以上となった場合、各区の議員数を見直す。
＜参考＞平成10年6月1日の推計人口では、
1.487倍となっています。

① 各区の人口に応じて議員定数を見直した結果、現在の定数より減る選挙区は減員し、増える選挙区は増員せずに据え置く。

② 実施時期は、平成13年実施予定の一般選挙から。実施に必要な条例改正等の手続きは、平成12年12月に行う。

今回の確認は、市が行財政改革を進める中、議会としても率先して取り組む必要があると考えたことによるものです。なお、検討に際して、削減は住民意思の反映を低下させる、行政区の再編を考えるべきなどの意見が出されました。

| 選挙区 | 現在の定数 |
|-----|-------|
| 門司 | 8 |
| 小倉北 | 13 |
| 小倉南 | 11 |
| 若松 | 6 |
| 八幡東 | 6 |
| 八幡西 | 15 |
| 戸畠 | 5 |
| 合計 | 64 |

可決した議員提出議案

今定例会では、意見書4件、決議4件の議員提出議案が提出され、うち4件を可決しました。

このうち、「インド及びパキスタンの核実験に抗議する決議」は、定例会初日に開かれた本会議において、全会一致で可決しました。その他の可決した件名などを紹介します。

●教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

●到津遊園の存続に関する決議

●民間金融機関による中小企業向け融資の拡充を求める決議

市議会議員の資産等を公開

市民の皆さんには、次の報告書を市議会事務局で閲覧できます。

- 資産等報告書 ○所得等報告書
○資産等補充報告書 ○関連会社等報告書

問い合わせ先
市議会事務局総務課
(☎582-2621) まで。

▼市議会では、視覚障害（一級か二級）のある方に、市議会だよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。

▶希望の方は、この連絡下さり。

▶市議会だよりにに関するお問い合わせや、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

▼次の定例会は九月開催予定です。

○陳情「ごみ袋有料化の中止等について」のうち第一項《不採択》
○陳情「裸婦像の撤去等について」
○陳情「鉄の彫刻の撤去について」
○陳情「水道メーターの購入価格について」
○陳情「配水管減圧弁マンホール工事に関する計画の公表について」
このほか、請願52件、陳情41件
は継続審査になりました。

○請願「一般ごみの無料収集の継続等について」のうち第一項

請願・陳情の審査結果

